

## 業績ハイライト (2022年9月期)

### ●財務ハイライト

#### 経常利益 (連結)

507  
億円

前年同期比  
52億円 増

#### 親会社株主に帰属する 中間純利益

352  
億円

前年同期比  
33億円 増

#### 総自己資本比率 (連結)

11.47  
%

前期末比  
0.64% 減

#### ROE (連結) 株主資本ベース

7.49  
%

前期末比  
1.51% 増

#### 貸出金残高 (単体)

11兆9,344  
億円

前期末比  
2,431億円 増

#### 預金残高 (単体)

15兆245  
億円

前期末比  
2,368億円 増

### ●非財務ハイライト

#### ちばぎんSDGs私募債引受額

累計 877億円

#### 上記商品による寄贈・寄付金額

累計 146百万円

※2022年4月に従来の寄付型私募債を「ちばぎんSDGs私募債」に改定し、寄贈・寄付のメニューを拡充しました。

#### 女性活躍推進 (2022年7月1日現在)

リーダー職以上  
女性比率

27.2%

※リーダー職とは、支店長代理など部下をもつ職務にある職員およびそれと同等の地位にある職員であり担当業務の責任者として組織マネジメントの職責を担う者です。

## 株式情報 (2022年9月30日現在)

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会の議決権：毎年3月31日  
期末配当：毎年3月31日  
中間配当：毎年9月30日
- 公告方法 電子公告  
(当行ホームページ <https://www.chibabank.co.jp/>)  
ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株式事務取扱場所 株主名簿管理人・事務取扱場所  
〒103-8202  
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号  
日本証券代行株式会社 本店  
お問い合わせ先 ☎0120-707-843

### 株主優待制度

対象株主 毎年3月末現在、1,000株以上を1年以上継続保有の株主さま\*

※「1,000株以上を1年以上継続保有」の確認につきましては、毎年3月末および9月末の当行株主名簿に、同一株主番号で1,000株を下回ることなく連続して3回以上記録されることといたします。

#### 特産品

- ①千葉県特産品コース  
千葉県の特産品等を掲載したカタログからお好みの商品をお選びいただけます。
- ②C-VALUE特別企画特産品コース  
ちばぎん商店が取り扱う千葉発の新たな特産品等を掲載した別冊カタログからお好みの商品をお選びいただけます。
- ③TSUBASAアライアンス共同企画特産品コース  
第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、群馬銀行の地元特産品等を掲載した別冊カタログからお好みの商品をお選びいただけます。

#### 寄付

- ④寄付コース  
SDGs達成に資する取組みを行う団体や基金の中から寄付先をお選びいただけます。

#### 優待基準

1,000株以上10,000株未満保有	①③特産品 (3,000円相当) ④寄付額 (3,000円)
10,000株以上保有	①②③特産品 (6,000円相当) ④寄付額 (6,000円)

## 株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉県千葉市中央区千葉港1-2  
TEL. 043-245-1111(代表)  
<https://www.chibabank.co.jp/>  
2022年12月発行



有機溶剤等を使用しない  
環境にやさしい「水なし印刷」で印刷しています



# ミニ・ディスクロージャー誌 2022

2023年3月期 営業の中間ご報告

## プロフィール (2022年9月30日現在)

社名 株式会社千葉銀行  
設立 1943(昭和18)年3月  
本所在地 千葉市中央区千葉港1-2  
従業員数 4,106人  
発行済株式数 815,521千株  
総資産 18兆8,852億円  
預金 15兆245億円  
貸出金 11兆9,344億円  
資本金 1,450億円  
総自己資本比率 連結11.47%  
単体10.82%

※諸計数は原則として単体未満を切り捨てのうえ表示しています。

# ちばぎんグループSDGs宣言と主な取組み



当行は、「ちばぎんグループSDGs宣言」を制定し、5つのマテリアリティ（重要課題）に基づいて、地域が抱える社会・環境課題の解決に向けて取り組んでいます。



## 地域経済とコミュニティの活性化に貢献します

### ○「企業や自治体の脱炭素セミナー2022」の共催

2022年11月、当行グループ会社の(株)ちばぎん総合研究所、千葉県、ちばSDGs推進ネットワークとともに、「企業や自治体の脱炭素セミナー2022」を共催しました。千葉県内で先進的な脱炭素化の取組みを行っている企業や自治体の事例を紹介し、メリットや課題などを共有しました。



## 高齢者の安心・安全な生活を支えます

### ○「ちばぎんスマホ講習会」の開催

2022年10月、高齢の方にもスマートフォンを安全・便利にご利用いただき、デジタル社会の中で快適な生活をおくれるよう、「ちばぎんスマホ講習会 アプリも!マイナンバーも!防犯も!」を開催しました。インターネットや銀行アプリの使い方、マイナンバーカードのメリット、スマートフォンを介した犯罪への注意点などについて説明しました。



講習会の様子



## より良い生活をおくるための金融サービスを提供します

### ○地銀初のApple Watch向けアプリの提供開始

2022年9月、地方銀行として初となるApple Watch向け「ちばぎんアプリ」の提供を開始しました。本アプリでは、iPhoneを取り出すことなく、直近の入出金履歴やデビットカードの利用履歴を確認できます。



## ダイバーシティと働き方改革を推進します

### ○「TSUBASAクロスメンター制度」の創設

2022年8月、TSUBASAアライアンス参加行共同で、女性の幹部候補育成を目的とした「TSUBASAクロスメンター制度」を創設しました。本制度は、役員がメンターに、女性管理職がメンティとなり、TSUBASAアライアンスのネットワークを活かした他行同士の組み合わせによるメンタリングを実施することが特長です。



## 持続可能な環境の保全に貢献します

### ○自社契約電力の再生可能エネルギーへの切り替え

2022年10月、自社契約電力を再生可能エネルギー由来の電力へ切り替えました。当行は、2030年度までのカーボンニュートラル\*達成を目指した取組みを強化しており、本件により、当行グループのCO<sub>2</sub>排出量を2021年度比6割程度削減できる見込みです。

\*CO<sub>2</sub>排出量をネットゼロにすること。当行では、Scope1（直接排出量）とScope2（エネルギー起源間接排出量）が対象。

# TOPICS

## 千葉国道事務所・千葉市と道路空間の利活用に関する包括連携協定を締結

2022年10月、国土交通省関東地方整備局千葉国道事務所および千葉市と「国道357号におけるにぎわい創出に向けた包括連携協定」を締結しました。

本協定は、国道357号の地下立体化で生まれた、千葉市役所前から、ちばぎん本店ビルに隣接するマンション前にかけての国道上部空間を、官民が協働して地域のにぎわい創出やまちづくりなどに活用していくことを目的としています。

当行は2023年3月に創立80周年を迎えるにあたり、本店ビル正面のスペースで定期的にマルシェを開催していくことを検討しています。



締結式の様子

## 「ちばぎんの森(第6)」森林整備活動を開始

松くい虫や津波の被害により、失われつつある海岸保安林を再生していくことを目的に、「ちばぎんの森」森林整備活動を行っています。2022年10月には、当行役職員のボランティアが釣ヶ崎海岸の「ちばぎんの森(第6)」にて、7,350本のクロマツ・トベラ・マサキを植樹しました。今後も、定期的に下草刈りなどの育樹活動を継続していきます。



植樹を行っている様子

## 第14次 中期経営計画 NEXT STEP 2023 ～未来へ、つながる・超える～

2020.4.1 ▶ 2023.3.31

「お客さまや地域社会のパートナーとして最新の金融サービスを提供し、地域経済の持続的な発展に貢献する」ことを使命とし、その実現に向けて金融機能の深化と地域金融の新たなモデル構築による「カスタマー・エクスペリエンス」の向上をビジョンとして掲げています。

### ●基本方針

### ●主要計数項目

	項目	2022年3月期 (実績)	2022年9月期 (実績)	2023年3月期 (目標)
I	お客さまに寄り添い共に進化し続けます			
II	お客さまの未来のために新たな価値を創造し続けます			
III	提携戦略を高度化します			
IV	サステナブルな経営を実現します			
	親会社株主に帰属する当期(中間)純利益	544億円	352億円	600億円
	連結ROE(株主資本ベース)	5.97%	7.49%	6%台半ば
	OHR(単体)	52.02%	45.76%	50%台前半